

九州ブロック会議（平成28年7月28日～29日・熊本県：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ）

参加者は約150名。総会では、はじめに開会のことばとして赤山武興九州技術教育専門学校理事長、主催者あいさつとして九州ブロックを代表し中村哲九州ブロック協議会会長、また、開催県である中島義和熊本県専修学校各種学校連合会会長から、4月に発生した熊本地震における被害・被災状況等の報告、復旧支援への謝意と復興に向けた支援等への協力要請が行われた。続いて小林光俊全専各連会長があいさつを述べるとともに、7月22日までに全専各連に寄せられた義援金（目録）を中島熊本県会長に贈呈した。さらに来賓として熊本県の蒲島郁夫知事（代理）が祝辞を述べた後、来賓及び九州各県会長を紹介。続いて、中島熊本県会長が議長に選出され、①平成27年度事業報告及び決算報告、②役員改選、③各県提出議案について、④宣言文採択の各議案が上程され、全ての議案が全会一致で承認された。

引き続き中央情勢報告として、文部科学省専修学校教育振興室の星川正樹室長補佐が配布資料をもとに、平成28年度専修学校関係予算及び事業の概要、職業実践専門課程の認定効果と課題、「新たな高等教育機関の制度化」等について解説。特に自己評価・学校関係者評価の充実が専修学校等全体の質の保証・向上を図るためにも、積極的な情報提供・公開を行うよう希望する、と述べた。全専各連事務局からは活動状況報告が行われ、全専各連の運動方針を述べるとともに、新たな高等教育機関創設に向けて中央教育審議会答申をもとに、これまでの職業教育体系を再整備し、社会的な魅力、評価の向上を得られる仕組み作りの重要性について、また、制度設計のポイントや基準、今後の見通しについても説明。最後にTCE財団が行う各種事業への積極的参画についての要請を行った後、総会は閉会した。

休憩後、研修会では、「職業実践専門課程のさらなる発展に向けて」と題し、認定校による事例発表として、熊本工業専門学校山田誠一氏、専修学校熊本YMCA学院加藤泰文氏から、認定制度による教育の質向上に寄与した事例や今後の課題について発表が行われた。まとめとして、星川室長補佐が職業実践専門課程の認定効果から教職員の意識と指導力・学生の実践力の向上について、申請様式を含めた認定要件ごとの留意事項の徹底、今年度の実施要項の変更点について説明。研修会終了後、赤池誠章参議院議員が駆けつけ、「専修学校・各種学校が今後とも発展するよう活動していく」との決意を述べた。小憩後、懇親会を開催し初日を終了した。翌日、視察研修が行われ全ての日程が終了した。

なお、採択された大会宣言決議文は次のとおりである。

【大会宣言】

我が国の職業教育は、昨年専修学校制度発足から40年の節目を迎え、今年度中には実践的な職業教育に特化した新たな高等教育機関の法制化が実現しようとしている。また、少子化に伴う18歳人口の減少・経済社会のグローバル化・情報化の進展には著しいものがある。このような教育制度・社会環境の大きな変換点において、専修学校各種学校は長きに渡り社会の要請に柔軟に応え職業教育に貢献してきたという自負を持ち、視座を高め新しい時代に踏み出さなければならない。

本日、この九州ブロック大会において、下記事項を行政当局並びに全国専修学校各種学校総連合会に対して強く要望するとともに、併せてそれぞれの九州ブロック会員校が自ら課題の解決に取り組み、社会的責務を果たしていくことをここに宣言する。

記

1 国、県等の行政機関への要望

- (1) 職業実践的な教育に特化した新たな高等教育機関の創設に向けて、今までの枠組みにこだわらない制度設計、設置基準の策定を求める。
- (2) 大規模災害に際して、被災した専修学校及び各種学校に対し一条校と同様の措置が講じられるとともに、激甚災害法の早期改正を求める。
- (3) 「職業実践専門課程」を通じた専修学校の質保障・向上の取組へのより一層の支援を求める。
- (4) 意欲と能力のある専門学校生が経済的理由により就学を断念することがないように、授業料減免や奨学金返還の一部公的負担等の修学支援の充実を求める。

2 全国専修学校各種学校総連合会への要望

全専各連に地方の意見を反映させるために、全専各連役員、委員会委員等への九州ブロック内の人材登用を引き続き積極的に行うことを求める。

3 九州ブロック内の会員校の課題、社会的責任の遂行に向けて

- (1) 各学校が自己点検及び学校評価に真摯に取り組み、教育内容及び教職員の資質向上を図るとともに、より魅力ある実践的な職業教育を実施する。
- (2) 実践的な職業教育機関として、若年者や離職者の雇用対策の一環を担うとともに社会人の学び直しとして広く活用されるよう地域社会に積極的に貢献する。
- (3) アジアに近接した九州ブロックの地理的特性を活かし、国際社会で活躍し、我が国の将来に貢献できる視点を持った人材の育成と先見性に富む学校経営を心がける。